

## 第33回 危険物保安技術講習会

事故防止調査研修センター

当協会は、都道府県及び消防機関等の危険物行政事務に従事されている職員の方々を対象に、危険物行政及び石油コンビナート等防災行政に関する最新情報の提供を目的として、昭和61年から「危険物保安技術講習会」を毎年度開催し、今回で33回目を迎えました。

今年度は、7月12日・13日に東京会場（AP市ヶ谷）、7月19日・20日に大阪会場（大阪科学技術センター）の2会場において開催し、全国各地から東京会場へは244名、大阪会場へは184名の合計428名の方々のご参加をいただきました。

基調講演では、総合安全工学研究所 事業部長 中村 順 様から「危険物爆発事故事例の学び方と安全対策」と題し、危険物に係わる爆発事故について、その事例の解析結果の解説及び事故調査報告書、特許情報、SDSなどの見方、読み方の事例を基にどのように安全に生かしていくかについて、ご紹介いただきました。

また、消防庁危険物保安室長からは、「危険物行政の最近の動向について」、特殊災害室長から、「石油コンビナート保安行政の動向について」のご講演をいただきました。

更に当協会から、「屋外タンク貯蔵所の基準に係る比較解説 特定（新法、新基準）・準特定の違いについて」「最近の性能評価・試験確認業務の現状について」「屋外タンク貯蔵所の基礎・地盤の概要と多様化する地下タンク・タンク室の評価について」「危険物施設等の保安に関する診断と災害対応演習について」「セミナー・研修会について」をテーマに説明いたしました。

参加者からは、「安全対策には事故事例の調査結果がいかに重要か良く理解できた」「特定・準特定・新法・旧法の違いが非常に分かりやすかった」「保安診断について良く理解できた。事業所に紹介しようと思う」「KHKの取組、事業内容を知ることができた」「危険物行政の最新動向や事故事例など大変参考になった」などの感想をいただきました。

当協会では、これからも皆様のお役に立つ内容の講習会を企画してまいりますので、引き続きご支援・ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



大阪会場



東京会場

講習会風景